

令和5年度

茨城大学大学院農学研究科（修士課程）

10月入学学生募集要項

推 薦 入 試
社 会 人 推 薦 入 試
外 国 人 推 薦 入 試

茨城大学大学院農学研究科

〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1
電 話 029-888-8519

目 次

| | |
|--------------------------------------|----|
| 茨城大学大学院農学研究科修士課程の教育目的とアドミッションポリシー・・・ | 1 |
| 学生募集要項 | |
| [推薦入試] | |
| 1. 専攻及び募集人員 | 3 |
| 2. 出願資格 | 3 |
| 3. 選抜方法 | 3 |
| 4. 試験日時及び場所 | 3 |
| 5. 出願手続 | 4 |
| 6. 合格発表 | 5 |
| 7. 確約書の提出 | 5 |
| 8. 入学手続 | 5 |
| 9. その他 | 5 |
| [社会人推薦入試] | |
| 1. 専攻及び募集人員 | 7 |
| 2. 出願資格 | 7 |
| 3. 選抜方法 | 7 |
| 4. 試験日時及び場所 | 7 |
| 5. 出願手続 | 8 |
| 6. 合格発表 | 9 |
| 7. 教育方法の特例 | 9 |
| 8. 確約書の提出 | 9 |
| 9. 入学手続 | 9 |
| 10. 長期履修学生制度 | 9 |
| 11. その他 | 9 |
| [外国人推薦入試] | |
| 1. 専攻及び募集人員 | 11 |
| 2. 出願資格 | 11 |
| 3. 選抜方法 | 11 |
| 4. 試験日時及び場所 | 11 |
| 5. 出願手続 | 12 |
| 6. 合格発表 | 13 |
| 7. 確約書の提出 | 13 |
| 8. 入学手続 | 13 |
| 9. その他 | 13 |
| ○ 事前審査(G P Aの算出)について | 15 |
| ○ 事前審査(出願資格認定審査)について | 15 |
| ○ 安全保障輸出管理について | 15 |
| ○ 個人情報の取り扱いについて | 15 |
| ○ 入学試験個人成績の開示について | 16 |
| 研究概要 | 17 |
| 各種様式・その他 | |
| 1. 志願者名票〔推薦入試・社会人推薦入試・外国人推薦入試〕 | |
| 2. 受験票・写真票〔推薦入試・社会人推薦入試・外国人推薦入試〕 | |
| 3. 志望理由書〔推薦入試・社会人推薦入試・外国人推薦入試〕 | |
| 4. 推薦書〔推薦入試・社会人推薦入試・外国人推薦入試〕 | |
| 5. コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法 | |

茨城大学大学院農学研究科修士課程の 教育目的とアドミッションポリシー

【教育目的】

21世紀に求められる環境と調和した人類の持続的発展のために、農学を基盤とした食料・生命・環境に関する幅広い基礎知識と専攻分野における高度な専門知識・技術及び研究開発能力を備え、地域・国際社会で自立的に問題解決ができる力を持った人材の養成を目的としています。

【アドミッションポリシー】

A 農学研究科において入学者に求める能力は以下である。

- ① 農学研究科で学ぶ基礎として、農学および関連分野における基礎学力を有しており、研究遂行に必要な研究手法および技術を理解している、あるいは理解する意欲がある。
- ② 地域および国際社会の農業や食品分野の課題を多面的に判断し、理解している、あるいは理解する意欲がある。
- ③ 他文化や多様な価値観を理解するための他者と協働するコミュニケーション力や語学力を修得している、あるいは修得する意欲がある。
- ④ 明確な目的意識と旺盛な探究心を持って農学系高度専門職業人として活躍する意欲がある。
- ⑤ 獲得した高度な専門知識および技術を活かし、地域社会の抱える課題を食料・生命・環境の件から解決する意欲がある。

B 農学研究科の入学者選抜においては以下の能力・成果を評価する。

- ① 農学全般の課題を理解し、解決に導くための必要となる基礎学力および研究遂行に必要な研究手法および技術の理解
- ② 多様な文化や国際社会を理解する上で必要となる語学力
- ③ 農業全般に渡る多様な課題を総合的に理解するために必要な論理的思考力と判断力

入学者選抜において上記の能力・資質を確認するため、面接においては研究遂行に必要な論理的思考力と判断力を評価する選抜試験を行い、総合的に判断する。

農 学 専 攻

アジア展開農学コース

【教育目標】

生物生産の高度化や食品の安全に関わる知識と技術を学び、グローバル、特にアジアの農業生産力の向上と安定的な食料供給に貢献できる高度専門職業人を育成します。

※このコースでは全ての授業が英語により開講されます。

応用植物科学コース

【教育目標】

植物生産に係る技術や防疫、品種開発、利用などについて専門的に学び、先端的農業技術の開発などを通じて21世紀の持続可能社会の発展を担う高度専門職業人を育成します。

実践農食科学コース

【教育目標】

分子レベルから個体に至るまでの生命現象の本質を学び、生物固有の能力を活かしたモノづくりや健康で豊かな人間生活を創造する食料・食品開発を担う高度専門職業人を育成します。

地域共生コース

【教育目標】

環境保全や社会基盤整備、社会構造などの知識や分析手法を専門的に学び、地域や国際社会と連携しながら環境と調和した21世紀の持続可能社会の発展を担う高度専門職業人を育成します。

令和5年度茨城大学大学院農学研究科（修士課程）

10月入学推薦入試学生募集要項

日本の大学を卒業あるいは卒業見込みの外国人留学生は、この入試を受験することになるので注意すること。

1. 専攻及び募集人員

| 専攻 | 募集人員 | コース |
|------|------|---------|
| 農学専攻 | 若干名 | アジア展開農学 |
| | | 実践農食科学 |
| | | 応用植物科学 |
| | | 地域共生 |

- (注意) 1. 募集人員には、連携大学院方式による募集人員（独立行政法人国立科学博物館植物研究部との連携、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門との連携）を含む。
 2. 募集人員の中には、社会人推薦入試（若干名）を含む。詳細については、7ページ以降を参照のこと。
 3. 日本の大学ではない大学を卒業あるいは卒業見込みの外国人留学生の場合は、外国人推薦入試学生募集要項（11ページ以降）による。

2. 出願資格

出願資格は以下の（1）、（2）を満たしている者とする。

- (1) 出願時までの学業成績に係わるGPAが2.5以上であること。（注1）
 (2) 次の各号のいずれかに該当すること。
 ① 大学を令和5年9月卒業見込みの者
 ② 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を令和5年9月までに授与される見込みの者
 ③ 外国において、学校教育における16年の課程を令和5年9月までに修了見込みの者
 ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を令和5年9月までに修了見込みの者
 ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を令和5年9月までに修了見込みの者
 ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを令和5年9月までに修了見込みの者
 ⑦ 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を令和5年9月までに授与される見込みの者（注2）

- (注1) 上記（1）において、本学に所属していない者については、本学において事前にGPAを審査し、結果を回答するので、あらかじめ農学研究科入試係に申し出ること。詳細については、15ページを参照のこと
 (注2) 上記（2）⑦で出願しようとする者は、事前審査（出願資格認定審査）を行うので、あらかじめ農学研究科入試係に申し出ること。詳細については、15ページを参照のこと

3. 選抜方法

入学者の選抜は、面接の結果で判定する。志望理由書、最終学校の成績証明書、推薦書等は参考資料とする。なお、アジア展開農学コースを志望した場合は、英語による面接を実施する。

| 選 抜 方 法 | |
|---------|--|
| 面 接 | 10分程度の面接を行います。志望理由書、成績証明書及び推薦書は面接時の参考資料とします。 |

4. 試験日程及び場所

試験当日の集合時刻及び試験開始時刻については出願期間終了後に送付する受験者心得をもって通知する。

| 月 日 | 専攻 | コース | 選 抜 方 法 | 試験場所 |
|------------------|------|---------|---------|------|
| 令和5年 1月21日（土） | 農学専攻 | アジア展開農学 | 面 接 | 農学部 |
| | | 実践農食科学 | | |
| | | 応用植物科学 | | |
| | | 地域共生 | | |

5. 出願手続

(1) 提出書類等

志願者は、下記提出書類等に検定料30,000円の振替払込受付証明書を同封し、朱書きで「大学院入学願書在中」と記入した封筒(角形2号〔24cm×33.2cm〕)に入れて提出すること。

検定料の納入方法

<金融機関の窓口で納入する場合>

- ア 本学所定の振込依頼書(注3)を銀行、信用金庫、農協などの金融機関に持参して納入すること。
- イ 振替払込受付証明書と振替払込請求書兼受領書は、金融機関の受領印があることを確認の上、受け取る。
- ウ 振替払込受付証明書を提出書類等とともに同封して出願すること。
- エ 振替払込請求書兼受領書は本人の控えとして、受験票が手元に届くまで大切に保管すること。

<コンビニエンスストアで納入する場合>

- ア 「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照の上、納入すること。
- イ 出願期間最終日の納入受付時間は午後3時までとなっているので、注意すること。

<クレジットカードで納入する場合>

- ア e-apply(イーアプライ)ホームページ【<https://e-apply.jp/e/ibaraki-gs/>】にアクセスし、納入手続きを行う。
- イ 納入手続き完了後、支払完了後に送信されるメールに記載のあるURLよりアクセスすること。
- ウ PDFファイルをダウンロードの上、「申し込み明細」をプリントアウトすること。
- エ 「申し込み明細」に印字された「収納証明書」を切り取り、提出書類等とともに同封して出願すること。
- オ 出願期間最終日の納入受付時間は午後3時までとなっているので、注意すること。

- (注 1) 振込時の振込手数料は、振込人負担となる。
- (注 2) 提出書類等が受理された後は、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還されない。
- (注 3) 本学所定の振込依頼書は窓口での配布と郵送のいずれかによる。窓口及び郵送先は5ページの〈問い合わせ先〉となる。郵送を希望の場合は返信用封筒(角型2号〔24cm×33.2cm〕に、宛先記入の上、120円切手を貼りつけたもの)を送付すること。
- (注 4) コンビニエンスストア及びクレジットカードで納入する場合の操作方法等のお問い合わせ先は次のとおりである。
 〈お問い合わせ先〉(株)ディスコ「学び・教育」出願・申込サポートセンター
 (電話 0120-202079)

| 提出書類等 | 摘 要 |
|---------------------------|---|
| (1) 志願者名票 | 本研究科所定の用紙。 |
| (2) 受験票・写真票 | 本研究科所定の用紙。写真は、上半身正面脱帽で出願前3か月以内に撮影したもの。(4cm×3cm) |
| (3) 志望理由書 | 本研究科所定の用紙。 |
| (4) 推薦書 | 本研究科所定の用紙。在学中の大学(学部)長、学校長又は指導教員が作成すること。 |
| (5) 成績証明書 | 出身大学の学長(学部長)が作成し、 厳封 したもの。 発行から3か月以内のものに限る。 GPAが明記されているかどうかは出身大学に確認しておくこと |
| (6) 卒業見込証明書 | 出身大学の学長(学部長)が作成したもの。 発行から3か月以内のものに限る。 |
| (7) 受験票送付用封筒 | 長形3号(12cm×23.5cm)の封筒に宛先(郵便番号、住所、氏名)を明記し、速達郵便料金の切手344円分を貼付すること。 |
| (8) 学士の学位授与(申請)証明書 | 出願資格(2)②に該当する者は、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位が授与された旨明記された証明書、又は同機構に学士の学位授与の申請をしている旨を明記された証明書(様式任意。出身大学長又は学校長が作成)を提出すること。 |
| (9) 学士学位に相当する学位の授与(申請)証明書 | 出願資格(2)⑦に該当する者は、学士の学位に相当する学位が授与された旨を明記された証明書、又は学位授与の申請をしている旨を明記した証明書(様式任意。出身大学長又は学校長が作成)を提出すること。 |

注意事項

志望する指導教員の専門分野及び研究概要については、17～19ページを参照すること。
 アジア展開農学コースを志望する場合は、志望する指導教員に申し出ること。

提出書類等に不備があったものは、いかなる場合でも出願を受理できない。

- (2) 出願期間
令和4年12月14日(水)から12月20日(火)まで(期間内必着)
期限後に到着したものは受理しないので、早めに出願するように注意すること。
- (3) 出願方法
- ・ 出願書類等を郵送で提出する場合は、必ず書留とし、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、12月20日(火)までに必着のこと。
 - ・ 封筒を直接持参する場合は、出願期間中の午前9時から午前11時30分及び午後1時から午後4時までの間に下記の9. その他に記載の〈問い合わせ先〉まで提出すること。
- (4) 受験票等の送付について
- ・ 出願手続き終了者には、出願期間終了後、受験票及び受験者心得を受験票送付用の封筒に同封して送付する。
 - ・ 受験票等が届かない場合は、下記の9. その他に記載の〈問い合わせ先〉を確認すること。
 - ・ 出願後に、住所を変更した場合には、速やかに下記の9. その他に記載の〈問い合わせ先〉まで届け出ること。

出願にあたっては、あらかじめ志望する指導教員に問い合わせをし、研究内容、指導について確認しておくこと。

6. 合格発表

- ・ 令和5年2月3日(金)午後1時に農学部ホームページ【<https://www.agr.ibaraki.ac.jp/>】上で合格者の受験番号を発表するとともに、合格者本人に郵送で通知する。
- ・ 電話等による照会には一切応じない。不合格者には通知しない。

7. 確約書の提出

合格通知書を受け取った者は、本人及び保証人が連署した入学確約書を令和5年3月31日(金)午後5時までに提出すること(郵送、持参どちらでも可)。期日までに届かない場合は、本研究科に入学の意思がないものとして取り扱う。ただし、出願資格で「見込み」の者が令和5年9月までにその条件を満たさなかった場合は入学できない。

8. 入学手続

入学手続等については、入学確約書提出者に対して別途送付する「入学手続案内」で周知する。
 入学金及び授業料については次のようになる。

| | |
|----------|-----------------------|
| 入学金 | 282,000円 |
| 授業料(後期分) | 267,900円(年額 535,800円) |

- (注1) 入学手続きまでに入学金及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学金及び新授業料が適用されることになる。
- (注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されることになる。
- (注3) 希望者は、入学金免除制度、授業料免除制度により選考の上、入学金、授業料の減免・徴収猶予を認められることがある。
- (注4) 入学時に納入する金額は、上記入学金に加え、学研災保険料などが含まれた金額となる。入学時納付金の金額については「入学手続案内」で別途周知する。

9. その他

- (1) 奨学金について
 希望者は、日本学生支援機構の奨学金制度により選考の上、奨学生に採用されることがある。
- (2) 注意事項
- ① 試験当日は必ず「受験票」を持参すること。
 - ② 健康上その他の理由により、受験又は修学に特別な配慮を必要とする者は、出願時に申し出ること。
 - ③ 検定料を振り込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んだ場合は、検定料の返還請求ができるので申し出ること。なお、返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となる。
 - ④ 不明な点は、下記に問い合わせること。なお、出願前に志望する指導教員に連絡を取り、あらかじめ確認すること。

| |
|--|
| 〈問い合わせ先〉 茨城大学大学院農学研究科入試係 〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1 電話 029-888-8519 |
|--|

令和5年度茨城大学大学院農学研究科（修士課程） 10月入学社会人推薦入試学生募集要項

1. 専攻及び募集人員

| 専攻 | 募集人員 | コース |
|------|------|---------|
| 農学専攻 | 若干名 | アジア展開農学 |
| | | 実践農食科学 |
| | | 応用植物科学 |
| | | 地域共生 |

- (注意) 1. 募集人員には、連携大学院方式による募集人員（独立行政法人国立科学博物館植物研究部との連携、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門との連携）を含む。
2. 日本の大学ではない大学を卒業あるいは卒業見込みの外国人留学生の場合は、外国人推薦入試学生募集要項（11ページ以降）による。

2. 出願資格

出願資格は以下の（1）～（3）を満たしている者とする。

- (1) 入学時に1年以上の社会的経験（企業・官公庁・教育機関等での就業（家事従事等の経験を含む。））を有する又は有する見込みであること
- (2) 出願時までの学業成績に係わるGPAが2.5以上であること。（注）
- (3) 次の各号のいずれかに該当すること。
 - ① 大学を卒業した者
 - ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者

(注) 上記（2）において、本学を卒業していない者については、本学において事前にGPAを審査し、結果を回答するので、あらかじめ農学研究科入試係に申し出ること。詳細については、15ページを参照のこと。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、面接の結果で判定する。志望理由書、最終学校の成績証明書、推薦書等は参考資料とする。なお、アジア展開農学コースを志望した場合は、英語による面接を実施する。

| 選 抜 方 法 | |
|---------|--|
| 面 接 | 10分程度の面接を行います。志望理由書、成績証明書及び推薦書は面接時の参考資料とします。 |

4. 試験日程及び場所

試験当日の集合時刻及び試験開始時刻については出願期間終了後に送付する受験者心得をもって通知する。

| 月 日 | 専攻 | コース | 選 抜 方 法 | 試験場所 |
|------------------|------|---------|---------|------|
| 令和5年 1月21日（土） | 農学専攻 | アジア展開農学 | 面 接 | 農学部 |
| | | 実践農食科学 | | |
| | | 応用植物科学 | | |
| | | 地域共生 | | |

5. 出願手続

(1) 提出書類等

志願者は、下記提出書類等に検定料30,000円の振替払込受付証明書を同封し、朱書きで「大学院入学願書在中」と記入した封筒（角形2号〔24cm×33.2cm〕）に入れて提出すること。

検定料の納入方法

<金融機関の窓口で納入する場合>

- ア 本学所定の振込依頼書（注3）を銀行、信用金庫、農協などの金融機関に持参して納入すること。
- イ 振替払込受付証明書と振替払込請求書兼受領書は、金融機関の受領印があることを確認の上、受け取ること。
- ウ 振替払込受付証明書を提出書類等とともに同封して出願すること。
- エ 振替払込請求書兼受領書は本人の控えとして、受験票が手元に届くまで大切に保管すること。

<コンビニエンスストアで納入する場合>

- ア 「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照の上、納入すること。
- イ 出願期間最終日の納入受付時間は午後3時までとなっているので、注意すること。

<クレジットカードで納入する場合>

- ア e-apply（イーアプライ）ホームページ【<https://e-apply.jp/e/ibaraki-gs/>】にアクセスし、納入手続きを行う。
- イ 納入手続き完了後、支払完了後に送信されるメールに記載のあるURLよりアクセスすること。
- ウ PDFファイルをダウンロードの上、「申し込み明細」をプリントアウトすること。
- エ 「申し込み明細」に印字された「収納証明書」を切り取り、提出書類等とともに同封して出願すること。
- オ 出願期間最終日の納入受付時間は午後3時までとなっているので、注意すること。

- (注 1) 振込時の振込手数料は、振込人負担となる。
- (注 2) 提出書類等が受理された後は、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還されない。
- (注 3) 本学所定の振込依頼書は窓口での配布と郵送のいずれかによる。窓口及び郵送先は10ページの〈問い合わせ先〉となる。郵送を希望の場合は返信用封筒（角型2号〔24cm×33.2cm〕に、宛先記入の上、120円切手を貼りつけたもの）を送付すること。
- (注 4) コンビニエンスストア及びクレジットカードで納入する場合の操作方法等のお問い合わせ先は次のとおりである。
 〈お問い合わせ先〉(株)ディスコ「学び・教育」出願・申込サポートセンター
 (電話 0120-202079)

| 提出書類等 | 摘 要 |
|--------------------|---|
| (1) 志願者名票 | 本研究科所定の用紙。 |
| (2) 受験票・写真票 | 本研究科所定の用紙。写真は、上半身正面脱帽で出願前3か月以内に撮影したもの。(4cm×3cm) |
| (3) 志望理由書 | 本研究科所定の用紙。 |
| (4) 推薦書 | 本研究科所定の用紙。勤務先の所属長等が作成すること。 |
| (5) 成績証明書 | 出身大学の学長（学部長）が作成し、 厳封 したもの。 発行から3か月以内のものに限る。 GPAが明記されているかどうかは出身大学に確認しておくこと。 |
| (6) 卒業証明書 | 出身大学の学長（学部長）が作成したもの。 発行から3か月以内のものに限る。 |
| (7) 受験票送付用封筒 | 長形3号（12cm×23.5cm）の封筒を用意すること。封筒に宛先（住所、氏名、郵便番号）を明記し、速達郵便料金の切手344円分を貼付して同封すること。 |
| (8) 学士の学位授与（申請）証明書 | 出願資格（3）②に該当する者は、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位が授与された旨明記されたもの。 |

注意事項

志望する指導教員の専門分野及び研究内容については、17～19ページを参照のこと。
 アジア展開農学コースを志望する場合は、志望する指導教員に申し出ること。

提出書類等に不備があったものは、いかなる場合でも出願を受理できない。

- (2) 出願期間
令和4年12月14日(水)から12月20日(火)まで(期間内必着)
期限後に到着したものは受理しないので、早めに出願するように注意すること。
- (3) 出願方法
- ・ 出願書類等を郵送で提出する場合は、必ず書留とし、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、12月20日(火)までに必着のこと。
 - ・ 封筒を直接持参する場合は、出願期間中の午前9時から午前11時30分及び午後1時から午後4時までの間に10ページに記載の〈問い合わせ先〉まで提出すること。
- (4) 受験票等の送付について
- ・ 出願手続き終了者には、出願期間終了後、受験票及び受験者心得を受験票送付用の封筒に同封して送付する。
 - ・ 受験票等が届かない場合は、10ページに記載の〈問い合わせ先〉に確認すること。
 - ・ 出願後に、住所を変更した場合には、速やかに10ページに記載の〈問い合わせ先〉まで届け出ること。

出願にあたっては、あらかじめ志望する指導教員に問い合わせをし、研究内容、指導について確認しておくこと。

6. 合格発表

- ・ 令和5年2月3日(金)午後1時に農学部ホームページ【<https://www.agr.ibaraki.ac.jp/>】上で合格者の受験番号を発表するとともに、合格者本人に郵送で通知する。
- ・ 電話等による照会には一切応じない。不合格者には通知しない。

7. 教育方法の特例

大学院設置基準第14条の特例により、大学院の課程において、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他の特定の時間又は時期において、授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を受けることができる。

8. 確約書の提出

合格通知書を受け取った者は、本人及び保証人が連署した入学確約書を令和5年3月31日(金)午後5時までに提出すること(郵送、持参どちらでも可)。期日までに届かない場合は、本研究科に入学の意思がないものとして取り扱う。ただし、出願資格で「見込み」の者が令和5年9月までにその条件を満たさなかった場合は入学できない。

9. 入学手続

入学手続等については、入学確約書提出者に対して別途送付する「入学手続案内」で周知する。
 入学料及び授業料については次のようになる。

| | |
|----------|-----------------------|
| 入学料 | 282,000円 |
| 授業料(後期分) | 267,900円(年額 535,800円) |

- (注1) 入学手続きまでに入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されることになる。
- (注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されることになる。
- (注3) 希望者は、入学料免除制度、授業料免除制度により選考の上、入学料、授業料の減免・徴収猶予を認められることがある。
- (注4) 入学時に納入する金額は、上記入学料に加え、学研災保険料などが含まれた金額となる。入学時納付金の金額については「入学手続案内」で別途周知する。

10. 長期履修学生制度

- ・ この制度は、職業を有している等の事情により修学の困難な学生に対して、標準修業年限(2年)を超えて一定期間(最長4年)にわたり計画的に教育課程を履修し修了することができるものである。教育課程や履修すべき総単位数及び授業料は標準修業年限のものと同じなので、単年度あたりの時間的負担や経済的負担は相当軽減されることになる(ただし、授業料が改定された場合は、改定後の金額を基に再計算する)。
- ・ 状況の変化により長期履修期間で修了できない場合には、認められた履修期間に2年間を加えた期間、在学することができる。このうち、長期履修期間を超えた期間については留年扱いとなり、通常の授業料が適用されることになるので注意を要する。
- ・ この制度の詳細については、10ページに記載の〈問い合わせ先〉に問い合わせること。なお、合格者に対しては改めて通知する。

11. その他

(1) 奨学金について

希望者は、日本学生支援機構の奨学金制度により選考の上、奨学生に採用されることがある。

(2) 注意事項

- ① 試験当日は必ず「受験票」を持参すること。
- ② 健康上その他の理由により、受験又は修学に特別な配慮を必要とする者は、出願時に申し出ること。
- ③ 検定料を振り込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んだ場合は、検定料の返還請求ができるので申し出ること。なお、返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となる。
- ④ 不明な点は、下記に問い合わせること。なお、出願前に志望する指導教員に連絡を取り、あらかじめ確認すること。

〈問い合わせ先〉

茨城大学大学院農学研究科入試係

〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1 電話 029-888-8519

令和5年度茨城大学大学院農学研究科（修士課程） 10月入学外国人推薦入試学生募集要項

本研究科に入学を志願する留学生（日本国以外の国籍を有する者）の入試は、この要項によるものとする。ただし、日本の大学を卒業又は卒業見込みの者は、外国人推薦入試では受験できないので注意すること。

1. 専攻及び募集人員

| 専攻 | 募集人員 | コース |
|------|------|---------|
| 農学専攻 | 若干名 | アジア展開農学 |
| | | 実践農食科学 |
| | | 応用植物科学 |
| | | 地域共生 |

(注意) 1. 募集人員には、連携大学院方式による募集人員（独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園との連携、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門との連携）を含む。

2. 出願資格

出願資格は以下の(1)～(4)を満たしている者とする。

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 出入国管理及び難民認定法における「留学」の在留資格を有する者又は大学院入学後に在留資格を「留学」に変更できる者
- (3) 出願時までの学業成績に係わるGPAが2.5以上であること。(注1)
- (4) 次の各号のいずれかに該当すること。
 - ① 外国において、学校教育における16年の課程を令和5年9月までに修了見込みの者
 - ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を令和5年9月までに修了見込みの者
 - ③ 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を令和5年9月までに授与される見込みの者(注2)

(注1) 上記(3)において、本学で事前にGPAを審査し、結果を回答するので、あらかじめ農学研究科入試係に申し出ること。詳細については、15ページを参照のこと。

(注2) 上記(4)③で出願しようとする者は、事前審査(出願資格認定審査)を行うので、あらかじめ農学研究科入試係に申し出ること。詳細については、15ページを参照のこと。

- *出願資格について疑問がある場合は、あらかじめ茨城大学大学院農学研究科入試係に確認すること。
- *外国に在住の方で、受験を希望する場合は、あらかじめ茨城大学大学院農学研究科入試係に確認すること。

<茨城大学大学院農学研究科入試係>
E-mail: iugsa_nyushi@ml.ibaraki.ac.jp

3. 選抜方法

入学者の選抜は、面接の結果で判定する。志望理由書、最終学校の成績証明書、推薦書等は参考資料とする。なお、アジア展開農学コースを志望した場合は、英語による面接を実施する。

| 選 抜 方 法 | |
|---------|--|
| 面 接 | 10分程度の面接を行います。志望理由書、成績証明書及び推薦書は面接時の参考資料とします。 |

4. 試験日時及び場所

試験当日の集合時刻及び試験開始時刻については出願期間終了後に送付する受験者心得をもって通知する。

| 月 日 | 専攻 | コース | 選 抜 方 法 | 試験場所 |
|------------------|------|---------|---------|------|
| 令和5年 1月21日(土) | 農学専攻 | アジア展開農学 | 面 接 | 農学部 |
| | | 実践農食科学 | | |
| | | 応用植物科学 | | |
| | | 地域共生 | | |

5. 出願手続

(1) 提出書類等

出願者は、下記提出書類等に検定料30,000円の振替払込受付証明書を同封し、朱書きで「大学院入学願書在中」と記入した封筒(角形2号〔24cm×33.2cm〕)に入れて提出すること。

検定料の納入方法

<金融機関の窓口で納入する場合>

- ア 本学所定の振込依頼書(注3)を銀行、信用金庫、農協などの金融機関に持参して納入すること。
- イ 振替払込受付証明書と振替払込請求書兼受領書は、金融機関の受領印があることを確認の上、受け取る。
- ウ 振替払込受付証明書を提出書類等とともに同封して出願すること。
- エ 振替払込請求書兼受領書は本人の控えとして、受験票が手元に届くまで大切に保管すること。

<コンビニエンスストアで納入する場合>

- ア 「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照の上、納入すること。
- イ 出願期間最終日の納入受付時間は午後3時までとなっているので、注意すること。

<クレジットカードで納入する場合>

- ア e-apply(イーアプライ)ホームページ【<https://e-apply.jp/e/ibaraki-gs/>】にアクセスし、納入手続きを行う。
- イ 納入手続き完了後、支払完了後に送信されるメールに記載のあるURLよりアクセスすること。
- ウ PDFファイルをダウンロードの上、「申し込み明細」をプリントアウトすること。
- エ 「申し込み明細」に印字された「収納証明書」を切り取り、提出書類等とともに同封して出願すること。
- オ 出願期間最終日の納入受付時間は午後3時までとなっているので、注意すること。

- (注 1) 振込時の振込手数料は、振込人負担となる。
- (注 2) 提出書類等が受理された後は、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還されない。
- (注 3) 本学所定の振込依頼書は窓口での配布と郵送のいずれかによる。窓口及び郵送先は13ページの「問い合わせ先」となる。郵送を希望の場合は返信用封筒(角型2号〔24cm×33.2cm〕に、宛先記入の上、120円切手を貼りつけたもの)を送付すること。
- (注 4) コンビニエンスストア及びクレジットカードで納入する場合の操作方法等のお問い合わせ先は次のとおりである。
 <お問い合わせ先> (株)ディスコ「学び・教育」出願・申込サポートセンター
 (電話 0120-202079)
- (注 5) 日本政府(文部科学省)から奨学金を受給している外国人留学生の場合、検定料は不要である。

| 提出書類等 | 摘 要 |
|---------------------------|--|
| (1) 志願者名票 | 本研究科所定の用紙。 |
| (2) 受験票・写真票 | 本研究科所定の用紙。写真は、上半身正面脱帽で出願前3か月以内に撮影したもの。(4cm×3cm) |
| (3) 志望理由書 | 本研究科所定の用紙。 |
| (4) 推薦書 | 本研究科所定の用紙。出身学校の大学(学部)長、学校長又は指導教員が作成すること。 |
| (5) 成績証明書 | 出身大学の学長(学部長)が作成し、 厳封 したもの。 発行から3か月以内 のものに限る。GPAが明記されているかどうかは出身大学に確認しておくこと。 |
| (6) 卒業見込証明書 | 出身大学の学長(学部長)が作成したもの。 発行から3か月以内 のものに限る。 |
| (7) 学士学位に相当する学位の授与(申請)証明書 | 出願資格(4)③に該当する者は、学士の学位に相当する学位が授与された旨明記されたもの、又は学位授与の申請をしている旨を明記した証明書(様式任意。出身大学長又は学校長が作成)を提出すること。 |
| (8) 住民票 又は入国査証の写し | 住民票の場合は市区町村長から交付された在留資格及び在留期間が明記されたもの。 発行から3か月以内 のものに限る。 |
| (9) 受験票送付用封筒 | 長形3号(12cm×23.5cm)の封筒を用意すること。封筒に宛先(住所、氏名、郵便番号)を明記し、速達郵便料金の切手344円分を貼付して同封すること。 |

注意事項

1. 提出書類のうち日本語及び英語以外の言語で記載されたものは、**日本語又は英語の訳文**をつけること。
2. 日本政府(文部科学省)から奨学金を受給している外国人留学生は「日本政府(文部科学省)から奨学金を受給している」旨の証明書を提出すること。
3. 志望する指導教員の専門分野及び研究内容については、17～19ページを参照すること。
アジア展開農学コースを志望する場合は、志望する指導教員に申し出ること。
4. 卒業(修了)見込み証明書に関しては、付加的な書類の提出を求めることがある。
提出書類等に不備があったものは、いかなる場合でも出願を受理できない。

- (2) 出願期間
令和4年12月14日(水)から12月20日(火)まで(期間内必着)
期限後に到着したものは受理しないので、早めに出願するように注意すること。
- (3) 出願方法
- ・ 出願書類等を郵送で提出する場合は、必ず書留とし、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、12月20日(火)までに必着のこと。
 - ・ 封筒を直接持参する場合は、出願期間中の午前9時から午前11時30分及び午後1時から午後4時までの間に下記の9. その他に記載の〈問い合わせ先〉まで提出すること。
- (4) 受験票等の送付について
- ・ 出願手続き終了者には、出願期間終了後、受験票及び受験者心得を受験票送付用の封筒に同封して送付する。
 - ・ 受験票等が届かない場合は、下記の9. その他に記載の〈問い合わせ先〉を確認すること。
 - ・ 出願後に、住所を変更した場合には、速やかに下記の9. その他に記載の〈問い合わせ先〉まで届け出ること。

出願にあたっては、あらかじめ志望する指導教員に問い合わせをし、研究内容、指導について確認しておくこと。

6. 合格発表

- ・ 令和5年2月3日(金)午後1時に農学部ホームページ【<https://www.agr.ibaraki.ac.jp/>】上で合格者の受験番号を発表するとともに、合格者本人に郵送で通知する。
- ・ 電話等による照会には一切応じない。不合格者には通知しない。

7. 確約書の提出

合格通知書を受け取った者は、本人及び保証人が連署した入学確約書を令和5年3月31日(金)午後5時までに提出すること(郵送、持参どちらでも可)。期日までに届かない場合は、本研究科に入学の意思がないものとして取り扱う。ただし、出願資格で「見込み」の者が令和5年9月までにその条件を満たさなかった場合は入学できない。

8. 入学手続

入学手続等については、入学確約書提出者に対して別途送付する「入学手続案内」で周知する。
 入学金及び授業料については次のようになる。

| | |
|----------|-----------------------|
| 入学金 | 282,000円 |
| 授業料(前期分) | 267,900円(年額 535,800円) |

- (注1) 入学手続きまでに入学金及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学金及び新授業料が適用されることになる。
- (注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されることになる。
- (注3) 希望者は、入学金免除制度、授業料免除制度により選考の上、入学金、授業料の減免・徴収猶予を認められることがある。
- (注4) 入学時に納入する金額は、上記入学金に加え、学研災保険料などが含まれた金額となる。入学時納付金の金額については「入学手続案内」で別途周知する。

9. その他

- (1) 試験当日は必ず「受験票」を持参すること。
- (2) 健康上その他の理由により、受験又は修学に特別な配慮を必要とする者は、出願時に申し出ること。
- (3) 検定料を振り込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んだ場合は、検定料の返還請求ができるので申し出ること。なお、返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となる。
- (4) 不明な点は、下記に問い合わせること。なお、出願前に志望する指導教員に連絡を取り、あらかじめ確認すること。

| |
|--|
| 〈問い合わせ先〉 茨城大学大学院農学研究科入試係 〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1 電話 029-888-8519 |
|--|

○事前審査（GPAの算出）について

推薦入試出願資格（1）、社会人推薦入試出願資格（2）及び外国人推薦入試出願資格（3）において本学に所属していない者については、申請者の成績をもとに本学においてGPAを算出し、申請者に回答する。

あらかじめ農学研究科入試係に申し出て、次の書類を下記期日までに提出すること。

事前審査の取扱いは、次のとおりとする。

（1）提出書類及び提出期限

- ① 入学試験出願資格認定申請書（本研究科所定用紙）
- ② 成績証明書
- ③ 成績判定に関する基準が記載された書類（様式任意）
- ④ 返信用封筒〔長形3号（12cm×23.5cm）、郵便番号・住所・氏名を明記、344円切手（速達郵便料金）貼付〕

上記①～④までの書類等を、令和4年11月30日（水）までに農学研究科入試係に持参又は郵送（**必着**）すること。
持参の場合の受付時間は午前9時から午前11時30分及び午後1時から午後4時まで。

（2）提出先

〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1 茨城大学大学院農学研究科入試係

（3）事前審査の結果通知

事前審査の結果は、令和4年12月7日（水）までに農学研究科長より本人宛て郵送（速達）で通知する。

○事前審査（出願資格認定審査）について

推薦入試出願資格（2）⑦及び外国人推薦入試出願資格（4）③で出願しようとする者については、事前審査（出願資格認定審査）を行うので、あらかじめ農学研究科入試係に申し出て、次の書類を下記期日までに提出すること。

事前審査の取扱いは、次のとおりとする。

（1）提出書類及び提出期限

- ① 入学試験出願資格認定申請書（本研究科所定用紙）
- ② 成績証明書
- ③ その他本研究科が必要と認める書類
- ④ 返信用封筒〔長形3号（12cm×23.5cm）、郵便番号・住所・氏名を明記、344円切手（速達郵便料金）貼付〕

上記①～④までの書類等を、令和4年11月30日（水）までに農学研究科入試係に持参又は郵送（**必着**）すること。
持参の場合の受付時間は午前9時から午前11時30分及び午後1時から午後4時まで。

（2）提出先

〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1 茨城大学大学院農学研究科入試係

（3）事前審査の結果通知

事前審査の結果は、令和4年12月7日（水）までに農学研究科長より本人宛て郵送（速達）で通知する。

○安全保障輸出管理について

茨城大学においては、日本国政府が定める外国為替及び外国貿易法に基づき、学内規程を定め、大学として行う物品の輸出、技術の提供、人材の交流等について、安全保障の観点から適正に管理することとしています。また、この取組みの一環として、外国人留学生及び外国人研究者の受入れにあたり、事前に研究内容等の確認を実施しています。

法令等により規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので、出願書類を提出する前に、必ず指導を希望する教員へ相談を行い、確認を行うよう注意してください。

なお、入学時には、外国為替及び外国貿易法を順守する誓約書に署名していただきます。

○個人情報の取扱いについて

本学では、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」の趣旨に則り、「国立大学法人茨城大学個人情報の保護及び管理規程」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

出願書類等により志願者から提出された個人情報については、入学者選抜に係る調査・研究並びに就学に係る用途のみに使用し、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

○入学試験個人成績の開示について

令和5年度推薦入試，社会人推薦入試，外国人推薦入試の個人成績を，下記により受験者本人に限って開示する。

- ①申込期間等 令和5年11月1日（水）から11月30日（木）まで 午前9時から午後5時
（ただし，土・日曜日及び祝日を除く。）
- ②申込者 **不合格受験者本人に限る。**
- ③申込方法 次の書類を持参のうえ来学し，所定の用紙により申し込むこと。
 - 本学の受験票
 - 本人確認のできる書類（学生証，免許証，パスポート等）
 - 返信用封筒（長形3号〔12cm×23.5cm〕）
申請者の郵便番号・住所・氏名を記入の上，519円分（書留料金）の切手を貼り付けること。
なお，電話での申し込みについては受け付けていない。
- ④申込先 茨城大学大学院農学研究科入試係（茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1）
- ⑤開示方法 受験者本人宛に，書留郵便で後日送付する。
- ⑥開示内容 段階別（3段階程度）に区分して開示する。
- ⑦その他 順位については開示しない。**不合格者が5名未満の場合，開示しない。**

農学研究科担当教員の専門分野と研究概要

| 専攻 | 教員氏名 | 専門分野 | 注 | 研究概要 | 指導資格 | 担当コース |
|------------------|----------|-----------|---|---|-----------|-----------|
| 農 学 専 攻 | 浅木 直美 | 作物学 | | 持続的な作物栽培技術の開発に関する研究 作物-土壌間の炭素および窒素動態に関する研究 | ① | 応用植物科学コース |
| | 朝山 宗彦 | 分子生命科学 | | 藻の分子生物学とバイオテクノロジーに関する研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 池田 真也 | 農産物流通学 | | 農産物流通およびマーケティングに関する経済研究 | ② | 地域共生コース |
| | 石川 祐子 | 食品機能学 | △※ | 食品の抗炎症・抗酸化活性などの機能性に関する研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 伊丹 一浩 | 農業史・環境史 | | 近代および現代における農業、農村、環境をめぐる問題の史的展開に関する研究 | ① | 地域共生コース |
| | 井上 栄一 | 園芸学 | | 園芸作物の品質制御に関する生理・遺伝学的研究 | ① | 応用植物科学コース |
| | 上塚 浩司 | 動物保健衛生学 | | 鳥や動物の保有するウエルシユ菌(<i>Clostridium perfringens</i>)に関する疫学的研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 内田 晋 | 環境経済学 | | 農業の環境影響評価に関する研究 | ① | 地域共生コース |
| | 大久保 武 | 動物育種学 | | サイトカイン受容体の細胞内情報伝達機構に関する研究 家畜・家禽の摂食および代謝関連遺伝子の単離と機能解析 | ① | 実践農食科学コース |
| | 岡山 毅 | 生物生産機械学 | | 三次元計測を用いた動物・植物のモデリング | ① | 地域共生コース |
| | 小川 恭喜 | 畜産物科学 | △ | 動物のサイトカイン産生・脂質代謝に関する研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 金澤 卓弥 | 動物細胞遺伝学 | | 乳腺細胞の決定および分化の分子細胞生物学的解析 精巣構成細胞の増殖および分化の分子機構 | ③ | 実践農食科学コース |
| | 菊田 真吾 | 農薬学 | | 昆虫培養細胞の薬剤耐性機構 昆虫特異的な薬剤標的に関する研究 | ① | 応用植物科学コース |
| | 北嶋 康樹 | 応用動物昆虫学 | | ハダニ及び昆虫の生態と防除に関する研究 | ① | 応用植物科学コース |
| | 木下 嗣基 | 流体力学/環境工学 | | 流体力学および環境工学に関する研究 | ① | 地域共生コース |
| | 久保山 勉 | 植物育種学 | | 植物における生殖隔離機構、ハイブリッド育種、花の諸形質に関する遺伝的解明と 応用に関する研究 | ③ | 応用植物科学コース |
| | 黒田 久雄 | 農業水利学 | | 窒素汚染と窒素浄化に関する研究 大区画水田の水管理手法に関する研究 | ① | 地域共生コース |
| | 上妻 由章 | 食品分子機能学 | | 食品素材等中の生理活性成分(プロテアーゼインヒビター、レクチンなどの機能性 タンパク質・酵素やペプチド等)の探索、構造・機能解析及び応用 | ① | 実践農食科学コース |
| 國府方 吾郎 | 植物多様性保全学 | ※※ | 植物における分子・染色体データを用いた多様性把握に関する研究 絶滅危惧植物の保全に関する研究 | ① | 応用植物科学コース | |
| 小島 俊雄 | 生物化学 | | 植物の環境ストレス応答機構の解明とストレス耐性作物の開発に関する研究 | ③ | 実践農食科学コース | |

【注】
 *印は国際フィールド農学センターにおいて行う。
 ◇印は茨城大学遺伝子実験施設において行う。
 ※印は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門との連携による。
 ※※印は独立行政法人国立科学博物館植物研究部との連携による。
 △印の教員は2024年3月に定年により退職予定。当該教員の指導を希望する場合は、当該教員に連絡した際に研究指導体制について必ず確認をすること。

【指導資格】
 ①教育研究指導を担当。
 ②教育研究指導を担当、但し研究指導は副指導に限る。当該教員の指導を希望する場合は、当該教員に連絡した際に研究指導体制について必ず確認をすること。
 ③教育指導を担当。

農学研究科担当教員の専門分野と研究概要

| 専攻 | 教員氏名 | 専門分野 | 注 | 研究概要 | 指導資格 | 担当コース |
|------------------|---------|---------|--|--|-----------|-----------|
| 農 学 専 攻 | 小針 大助 | 応用動物行動学 | * | 展示動物および家畜のアニマルウェルフェアに配慮した動物行動学的研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 小松崎 将一 | 農作業学 | * | 持続可能な農食システムにおける物質循環の最適化に関する研究 | ① | 地域共生コース |
| | 坂上 伸生 | 土壌環境科学 | | アジア農業における土壌の持続的利用に関する研究 土壌生態系をとりまく自然環境の動態に関する研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 佐藤 達雄 | 施設生産技術学 | * | 植物の病害に対する誘導抵抗性のメカニズムと応用に関する研究 施設栽培における環境負荷軽減型栽培技術 | ① | 応用植物科学コース |
| | 庄司 俊彦 | 食品機能学 | ※ | 食品のポリフェノールなど機能性成分分析、脂質代謝などの機能性研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 庄山 紀久子 | 景観生態学 | | 持続可能な土地利用・生態系管理に関する研究 | ① | 地域共生コース |
| | 白岩 雅和 | 食品生化学 | | 植物性食品素材に含まれる生理活性成分に関する研究 | ③ | 実践農食科学コース |
| | 鈴木 聡 | 醸造微生物学 | ※ | 食品醸造に使われる麹菌などの遺伝子解析及びその産業利用に関する研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 鈴木 穂高 | 食品衛生学 | | 魚貝毒に関する研究 食中毒菌に関する研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 鈴木 義人 | 化学生態学 | | 植物と他生物との化学的相互作用に関する研究 植物の生長調節物質に関する研究 植物に含まれる機能性成分の研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 須藤 まどか | 動物栄養生理学 | △ | 育成牛におけるストレス反応調節機構に関する研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 高瀬 唯 | 景観整備学 | | 地域環境に基づく良好な景観の形成・保護・利用に関する研究 | ① | 地域共生コース |
| | 田中 伸幸 | 植物分類学 | ※※ | 種子植物の分類学的研究および資源植物学的研究 | ① | 応用植物科学コース |
| | 七夕 小百合 | 作物生産技術学 | * | マメ科植物の根粒形成・窒素固定活性に関する研究 地域内資源循環型栽培技術の開発に関する研究 | ① | 応用植物科学コース |
| | 長南 茂 | 代謝生化学 | | 細胞内コエンザイムA代謝に関する研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 戸嶋 浩明 | 生物有機化学 | | 生理活性物質の合成研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 豊田 淳 | 動物生化学 | | 心理社会的ストレスによる心身不調のメカニズムの解明 心身不調を緩和・予防する食品や飼料中成分の探索 心身不調モデルマウスの開発とその評価系の開発 | ① | 実践農食科学コース |
| | 長澤 淳 | 食料経済学 | | 食料シミュレーションに関する研究 | ③ | 地域共生コース |
| 中島 雅己 | 植物病理学 | | 植物病原菌の病原性発現機構に関する研究 植物病害のバイオコントロールに関する研究 植物の誘導抵抗性を利用した病害防除に関する研究 | ① | 応用植物科学コース | |
| 中平 洋一 | 植物分子生物学 | | 葉緑体工学を用いた有用物質生産に関する研究 | ① | 実践農食科学コース | |

【注】
 * 印は国際フィールド農学センターにおいて行う。
 ◇印は茨城大学遺伝子実験施設において行う。
 ※印は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門との連携による。
 ※※印は独立行政法人国立科学博物館植物研究部との連携による。
 △印の教員は2024年3月に定年により退職予定。当該教員の指導を希望する場合は、当該教員に連絡した際に研究指導体制について必ず確認をすること。

【指導資格】
 ①教育研究指導を担当。
 ②教育研究指導を担当、但し研究指導は副指導に限る。当該教員の指導を希望する場合は、当該教員に連絡した際に研究指導体制について必ず確認をすること。
 ③教育指導を担当。

農学研究科担当教員の専門分野と研究概要

| 専攻 | 教員氏名 | 専門分野 | 注 | 研究概要 | 指導資格 | 担当コース |
|------------------|---------|---------|--------------|---|-----------|-----------|
| 農 学 専 攻 | 中村 彰宏 | 食品保蔵学 | | 多糖類の食品における物性機能に関する研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 成澤 才彦 | 微生物生態学 | | 微生物共生を利用した植物機能強化に関する研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 西川 邦夫 | 農政学 | | 農業政策・農業構造・農業経営に関する研究 | ① | 地域共生コース |
| | 西澤 智康 | 地圏生態化学 | | 地圏生態系微生物の群集構成および機能に関する研究 土壌細菌-植物間および微生物間相互作用に関する研究 生理活性物質を生産する微生物のゲノム生態学的研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 西原 宏史 | 応用微生物学 | | 水素酸化細菌の機能解析と利用に関する研究 | ③ | 実践農食科学コース |
| | 長谷川 守文 | 天然物化学 | | イネの動的病害防御物質の生物有機化学研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 福与 徳文 | 地域計画学 | | 地域活性化のための計画手法に関する研究 | ① | 地域共生コース |
| | 古谷 綾子 | 植物病理学 | ◇ | 植物病原細菌の病原性機構に関する研究 植物細菌病害のバイオコントロールに関する研究 | ③ | 応用植物科学コース |
| | 前田 滋哉 | 環境水理学 | | 河川や農業水路における水理と生態環境の保全に関する研究 | ① | 地域共生コース |
| | 牧山 正男 | 農地工学 | | 大区画水田の均平および排水性に関する研究 | ③ | 地域共生コース |
| | 水野 貴行 | 花き園芸資源学 | ※※ | 園芸資源植物の品質に関する有機化学的・生理学的研究 | ① | 応用植物科学コース |
| | 宮口 右二 | 畜産物科学 | | 飼料および加工技術による高品質な畜産製品の開発に関する研究 未利用食料資源の有効利用に関する研究 | ① | 実践農食科学コース |
| | 村井 良徳 | 植物化学適応学 | ※※ | 各種植物におけるフェノール化合物のプロファイリング 植物におけるフェノール化合物の機能に関する研究 | ① | 応用植物科学コース |
| | 望月 佑哉 | 青果物利用学 | | 園芸作物の安定生産および鮮度保持に関する研究 | ① | 応用植物科学コース |
| | 安江 健 | 応用動物行動学 | | 家畜の行動と人の生活への活用に関する研究 | ③ | 実践農食科学コース |
| | 鎗田 孝 | 食品分析化学 | | 食品中の有害物質や機能性成分の化学分析法に関する研究 | ① | 実践農食科学コース |
| 吉田 悠太 | 動物生体機構学 | | 動物の味覚受容機構の解明 | ② | 実践農食科学コース | |

【注】
 *印は国際フィールド農学センターにおいて行う。
 ◇印は茨城大学遺伝子実験施設において行う。
 ※印は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門との連携による。
 ※※印は独立行政法人国立科学博物館植物研究部との連携による。
 △印の教員は2024年3月に定年により退職予定。当該教員の指導を希望する場合は、当該教員に連絡した際に研究指導体制について必ず確認をすること。

【指導資格】
 ①教育研究指導を担当。
 ②教育研究指導を担当、但し研究指導は副指導に限る。当該教員の指導を希望する場合は、当該教員に連絡した際に研究指導体制について必ず確認をすること。
 ③教育指導を担当。

令和5年度 茨城大学大学院農学研究科志願者名票 [10月推薦入学]

| | | | | | |
|------------------|--|-------------|---|----------|---|
| ふりがな 氏名 | 男・女 | 昭和 平成 | 年 月 日 (日生 歳) | 受験 番号 | ※ |
| 志望コース | 志望指導教員氏名 | | | | |
| 出願資格 | 大学 学部 学科 令和 年 月 卒業見込 | | | | |
| 現住所 | 〒 | | | | |
| 連絡先 | 〒 (電 話 :) (携 帯 電 話 :) | | | | |
| 保証人 | 氏名 | 職業 | 続柄 | | |
| | 現住所 | 〒 (電 話 :) | | | |
| 合格通知用宛先 書類送付先 | <合格通知用宛先 (合格発表時)> <input type="checkbox"/> 現住所と同じ <input type="checkbox"/> 連絡先と同じ <input type="checkbox"/> 保証人の現住所と同じ | | <入学手続用宛先> (令和5年6月送付) <input type="checkbox"/> 現住所と同じ <input type="checkbox"/> 連絡先と同じ <input type="checkbox"/> 保証人の現住所と同じ | | |

履 歴 書

| | 年 月 | 履 歴 事 項 |
|--------------|-----|---------|
| 学歴 (高校以上) | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 職 歴 | | |
| | | |
| | | |

- 注1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 訂正する場合は、二重線で抹消して訂正印を押してください。
 3. 志望するコースの教育研究内容等については、予め志望する指導教員に問い合わせをし、確認しておくこと。
 4. 現住所、連絡先、保証人の現住所及び書類送付先は、提出後変更があった場合は直ちに申し出ること。
 5. 学歴は日本語学校、研究生等全て記載すること。
 6. 志望指導教員氏名は、17ページ～19ページに記載の農学研究科担当教員のうち、指導資格欄が①又は②の教員から1名を記載すること。

[推薦入試用]

令和5年度 茨城大学大学院農学研究科

受験票 [10月推薦入学]

| | |
|---|-----|
| 受験番号 | ※ |
| ふりがな 氏名 | |
| 志望コース | コース |
| 注 1. ※印欄は記入しないこと。 2. この受験票は試験当日必ず持参すること。 | |

切り取り線

[推薦入試用]

令和5年度 茨城大学大学院農学研究科

写真票 [10月推薦入学]

| | |
|--|-----|
| 受験番号 | ※ |
| ふりがな 氏名 | |
| 志望コース | コース |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"><p>写真貼付欄 (縦4cm×横3cm)</p><p>出願前3ヶ月以内撮影 正面上半身無帽</p></div> | |

注 ※印欄は記入しないこと。

令和5年度 茨城大学大学院農学研究科志願者名票 [10月推薦入学]

| | | | | | |
|------------------|---|-------------|---|----------|---|
| ふりがな 氏名 | 男・女 | 昭和 平成 | 年 月 日 (日生 歳) | 受験 番号 | ※ |
| 志望コース | 志望指導教員氏名 | | | | |
| 出願資格 | 大学 学部 学科 年 月 卒 業 | | | | |
| 現住所 | 〒 | | | | |
| 連絡先 | 〒 (電 話 :) (携 帯 電 話 :) | | | | |
| 保証人 | 氏名 | 職業 | 続柄 | | |
| | 現住所 | 〒 (電 話 :) | | | |
| 合格通知用宛先 書類送付先 | <合格通知用宛先 (合格発表時) > <input type="checkbox"/> 現住所と同じ <input type="checkbox"/> 連絡先と同じ <input type="checkbox"/> 保証人の現住所と同じ | | <入学手続用宛先> (令和5年6月送付) <input type="checkbox"/> 現住所と同じ <input type="checkbox"/> 連絡先と同じ <input type="checkbox"/> 保証人の現住所と同じ | | |

履 歴 書

| | 年 月 | 履 歴 事 項 |
|--------------|-----|---------|
| 学歴 (高校以上) | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 職歴 | | |
| | | |
| | | |

- 注1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 訂正する場合は、二重線で抹消して訂正印を押してください。
 3. 志望するコースの教育研究内容等については、予め志望する指導教員に問い合わせをし、確認しておくこと
 4. 現住所、連絡先、保証人の現住所及び書類送付先は、提出後変更があった場合は直ちに申し出ること。
 5. 学歴は日本語学校、研究生等全て記載すること。
 6. 志望指導教員氏名は、17ページ～19ページに記載の農学研究科担当教員のうち、指導資格欄が①又は②の教員から1名を記載すること。

令和5年度 茨城大学大学院農学研究科

受験票 [10月推薦入学]

| | |
|---|-----|
| 受験番号 | ※ |
| ふりがな 氏名 | |
| 志望コース | コース |
| 注 1. ※印欄は記入しないこと。 2. この受験票は試験当日必ず持参すること。 | |

切り取り線

[社会人推薦入試用]

令和5年度 茨城大学大学院農学研究科

写真票 [10月推薦入学]

| | |
|--|-----|
| 受験番号 | ※ |
| ふりがな 氏名 | |
| 志望コース | コース |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"><p>写真貼付欄 (縦4cm×横3cm)</p><p>出願前3ヶ月以内撮影 正面上半身無帽</p></div> | |

注 ※印欄は記入しないこと。

令和5年度 茨城大学大学院農学研究科志願者名票 [10月推薦入学]

| | | | | | |
|------------------|-------------|------|----------|--------------|----------------------|
| | | | | 受験番号 | ※ |
| 氏名 | フリガナ | | | 志望コース | コース |
| | 自国語 | | | | |
| | フリガナ | | | 志望指導 教員氏名 | |
| | ローマ字 | | | | |
| 生年月日 | 年 月 日生 (歳) | | 性別 | 男 ・ 女 | |
| 国籍 | | 在留資格 | | 在留期間 | 年 月 日 から 年 月 日 まで |
| 出願資格 | 大学 | | 学部 | 学科 | 年 月 日 卒業見込 |
| 日本に おける | 本人の住所 | | 〒 | | |
| | | | 電話 () | | — |
| | | | 携帯電話 () | | — |
| 上記以外 の連絡先 | 氏名 | | | 本人との関係 | |
| | 住所 | 〒 | | | 電話 () |
| 合格通知に関する 受信場所 | 〒 | | 様方 | 電話 () | — |
| 入学手続に関する 受信場所 | 〒 | | 様方 | 電話 () | — |

| 履 歴 書 (学歴は小学校入学時から記入すること。) | | | | |
|----------------------------|-----|-----|------|------|
| 区分 | 年・月 | 年・月 | 修学年数 | 記載事項 |
| 学 歴 | ・ | ～ | ・ | |
| | ・ | ～ | ・ | |
| | ・ | ～ | ・ | |
| | ・ | ～ | ・ | |
| | ・ | ～ | ・ | |
| 職 歴 | ・ | ～ | ・ | |
| | ・ | ～ | ・ | |

- (注意) 1. ※欄以外は本人が直筆で記入すること。
 2. 訂正する場合は、二重線で抹消して訂正印を押してください。
 3. 志望するコースの教育研究内容等については、予め指導教員に問い合わせをし、確認しておくこと。
 4. 年号は西暦、欧文は活字体で記入すること。
 5. 氏名の欄は、ファミリー・ファースト・ミドルネームの順とし、フリガナはカタカナで記入すること。
 6. 国籍、在留資格及び在留期間は、住民票又は入国査証に記載されているものを記入すること。
 7. 学歴は日本語学校、研究生等全て記載すること。
 8. 志望指導教員氏名は、17ページ～19ページに記載の農学研究科担当教員のうち、指導資格欄が①又は②の教員から1名を記載すること。

令和5年度 茨城大学大学院農学研究科

受験票 [10月推薦入学]

| | | |
|-------|---|------------|
| 受験番号 | ※ | |
| 氏名 | フリガナ | 年 月 日生 男・女 |
| | 氏名 ローマ字 | |
| 国籍 | | |
| 志望コース | コース | |
| 注 | 1. ※印欄は記入しないこと。 2. 本人が直筆で記入すること。 3. この受験票は試験当日必ず持参すること。 | |

切り取り線

[外国人推薦入試用]



令和5年度 茨城大学大学院農学研究科

写真票 [10月推薦入学]

| | |
|--|-----|
| 受験番号 | ※ |
| フリガナ | |
| 氏名 | |
| ローマ字 | |
| 志望コース | コース |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"><p>写真貼付欄 (縦4cm×横3cm)</p><p>出願前3ヶ月以内撮影 正面上半身無帽</p></div> | |

- 注
- ※印欄は記入しないこと。
 - 本人が直筆で記入すること。

コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください（インターネット登録不要）

1 お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON **Loppi** MINISTOP **Loppi**

<https://www.lawson.co.jp>
<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い

あなたも、コンビニに、**FamilyMart**

Famiポート マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」または「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**申込・保険・請求・募金(7)**」または「**保険/学び・教育**」よりお申込みください。



「申込・保険・請求・募金(7)」または「保険/学び・教育」
↓
学び・教育
↓
各種(入学検定料等)お支払いサービス

茨城大学大学院 をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、Famiポートまたはマルチコピー機)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



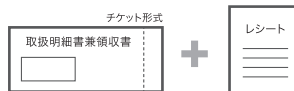
*出願期間最終日の支払受付時間は15時までとなります。 *お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

| | | |
|---------------|-------------|------|
| 払込手数料 (税込) | 入学検定料が5万円未満 | 440円 |
| | 入学検定料が5万円以上 | 660円 |

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

② お支払い後チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。



(ファミリーマート)

② お支払い後受領書(レシート)をお受け取りください。



3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、他の出願書類とともに提出してください。

受領書(レシート)を他の出願書類とともに提出してください。